

愛知登文会総会報告

第3回

平成25年7月29日発行

平成25年度総会・講演会開催

平成25年6月22日(土)、名古屋陶磁器会館において、愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会平成25年度総会を開催いたしました。総会閉会后には講演会を開催し、株式会社魚津社寺工務店相談役会長の魚津源二氏より「“先人の知恵と心を語る”社寺建築の耐震補強における、匠の技と美」についてご講演いただきました。今年度の総会・講演会には、あいちヘリテージマネージャーやなごや歴まちびとの皆様、京都登文会からもご参加をいただき、講演会終了後に開催した茶話会では親睦を深めることができました。詳細を以下にご報告いたします。

総会

午後2時～2時50分

- 1 開会の辞
- 2 会長挨拶
- 3 来賓祝辞
- 4 議長指名
- 5 議題
 - 第1号議案 平成24年度事業報告
 - 第2号議案 平成24年度決算報告及び会計監査報告
 - 第3号議案 平成25年度役員について
 - 第4号議案 平成25年度事業計画について
 - 第5号議案 平成25年度予算について
- 6 閉会の辞



平成25年度総会は、来賓に京都府国登録文化財所有者の会の大川淳治様、愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室室長の山本雅夫様様の臨席を賜り、佐地秀明副会長の開会の辞で始まり、正会員総数47名のうち28名出席(うち委任状16名)のもと開会し、第1号議案「平成24年度事業報告」から第5号議案「平成25年度予算について」まで審議した結果、いずれも原案通り、全員一致で異議なく承認されました。

講演会

午後3時～4時30分



題目: “先人の知恵と心を語る”社寺建築の耐震補強における、匠の技と美

講師: 株式会社魚津社寺工務店 相談役会長 魚津源二氏

職人の世界はプラスマイナス、オスメスの世界と言われます。仕口が‘おんた’もう一方が‘めんだ’。仕口を一分の隙もないように仕上げるのが職人の技です。地震時には仕口の接点が熱エネルギーに変換されます。一度仕口が緩むと熱エネルギーが少なくなります。昭和30年頃までは文化財を移築する際に全解体するという工法がとられていましたが、ある時期から半解体とするようになりました。どれだけ壁量が多っても仕口が弱ければ建物はおもいません。現代のプレカット工法はよいかもしれませんが、建物は10年20年30年経過すれば木が変化します。その時に果たして釘がもつのか疑問です。30年持てばよいとい

うことかもしれませんが、少なくとも釘金物に重点を置くことと地震時に抜けてしまうというのが私の感覚です。基本的に木造の耐震補強は何であるかと聞かれれば「まず仕口である」と答えます。

登録有形文化財は、制度がつくられた当初よりも建物の保存に対する規制が厳しくなっています。壊れない方法でもっと幅を持たせた耐震補強の仕方があるのではないかと思います。どんな建物でも使われなければ意味がありません。どうすれば所有者の方が楽しく住めるか。デザイナーと協力して洒落た古民家再生をしてもよい。骨董品ではなく生きた建物であるということです。

(事務局まとめ)

茶話会

午後4時30分～

講演会終了後に茶話会を開催し、参加者の皆様から持ち寄っていただいた銘菓や銘酒を飲食しながら親睦を深めました。銘菓・銘酒をお持ちいただいた皆様には深く御礼申し上げます。



↑親睦を深める参加者の皆様

←犬山の銘酒「忍冬酒」を注ぐ長谷川会長(中央)

役員新任体制

※印は今年度新任した役員。()内は所属・所有文化財名称等。

| | | |
|---------|-------|-----------------------|
| 理事長(会長) | 長谷川良夫 | (犬山城下町を守る会会長) |
| 副会長 | 佐地 秀明 | (名古屋陶磁器会館) |
| 〃 | 小栗 宏次 | (小栗家住宅主屋ほか) |
| 理事 | 天野 啓介 | (大野宿鳳来館ほか) |
| 〃 | 石川新太郎 | (明治村・第八高等学校正門ほか) |
| 〃 | 岡田 妃代 | (大野宿鳳来館ほか) |
| 〃 | 柴田 正康 | (柴田家住宅主屋) |
| 〃 | 清水 勝之 | (岡崎信用金庫資料館) |
| 〃 | 若山 宏※ | (名古屋テレビ塔) |
| 事務局長 | 松井三希子 | (名古屋陶磁器会館) |
| 監事 | 牧謙 治 | (愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室) |
| 〃 | 久野 恭裕 | (C R A F I S総合会計事務所) |
| 相談役 | 瀬口 哲夫 | (愛知県文化財保護審議会委員) |
| 〃 | 杉野 丞 | (愛知工業大学建築学科教授) |
| 〃 | 小川 芳範 | (愛知県立犬山高等学校教頭) |
| 〃 | 井澤 知旦 | (名古屋学院大学経済学部教授) |

会長あいさつ

会長 長谷川良夫

平成23年6月に愛知登文会を設立し、第3回目の総会を開催する運びとなりました。これもひとえに皆様のご支援のおかげでございます。深く感謝申し上げます。

ご来賓として、愛知県教育委員会文化財保護室長の山本雅夫様、愛知工業大学の杉野丞教授、また京都登文会から大川淳治理事のご臨席を賜りました。地元からは、なごや歴まちびとの会及びあいちヘリテージマネージャーから多数ご参加をいただきました。

本年度もご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

愛知登文会では、昨年度に引き続き平成25年度も文化庁補助事業「文化遺産を活かした・地域活性化事業」との連携により活動を実施するとともに、会独自の事業として情報発信や県外視察などを実施する予定です。本年度もご支援・ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

文化庁補助事業「文化遺産を活かした地域活性化事業」による事業(予定)

文化財所有者プロジェクト—文化財建造物の所有者がその所有建造物の社会的価値を認識して、保存・活用に向けた意識改革や取組みを促進していく事業

①文化財建造物保存・活用講座事業(全7回開催予定)

| | | |
|------------|-----------------------|---------|
| ・第1回 現地視察① | 「知多岡田の街並みと登録文化財」(知多市) | 7月11日 |
| ・第2回 現地視察② | 「八丁味噌カクキュー」(岡崎市) | 9月23日 |
| ・第3回 現地視察③ | (未定) | 10月頃を想定 |
| ・第4回 現地視察④ | 「名古屋市有松 棚橋家&中濱家」(調整中) | 11月頃を想定 |
| ・第5回 座学① | 「県外での保存・活用の先進的取組み」(案) | 12月頃を想定 |
| ・第6回 座学② | 「文化財建造物の耐震改修」(案) | 1月頃を想定 |
| ・第7回 座学③ | 「文化財建造物の維持・管理耐」(案) | 2月頃を想定 |

②文化財建造物保存・活用シンポジウム事業

・愛知登文会での取組みを報告し、県民に文化財建造物の貴重さをアピールするとともに、保存・活用の機運を醸成していく場としてシンポジウムを開催する。 3月頃を想定

文化財子どもプロジェクト—子どものころから文化財に係わり、馴染んで、その存在を誇りに思い、将来の文化財に対する理解者を増やしていく事業

①子ども文化財体験事業(全6回開催予定)

・日本福音ルーテル復活教会(名古屋市)や旧石原邸(岡崎市)など、全6カ所での開催を予定。

②子ども文化財ガイド事業(下記3カ所での開催を予定)

| | |
|----------------|---------------------------------------|
| ・半田赤レンガ建物(半田市) | 8/26(月)・9/15(日)・9/22(日) |
| ・鳳来館(新城市) | 10/12(土)・10/27(日)・11/9(土)・11/23(土)を想定 |
| ・犬山市を予定 | 開催時期は調整中 |

観光ボランティアガイド連携プロジェクト—地域で活動する観光ボランティアガイドに、文化財建造物に関する教材提供と学習機会(現場視察を含む)を提供することで、来訪者に対して地域文化の紹介を行う人材(ガイド)を育成する事業

①観光ボランティアガイド育成事業(全3回開催予定)

・観光ボランティア育成を進めている地域もしくは観光ボランティア団体のある地域3カ所での開催を予定。

その他、上記以外の事業(予定)

愛知登文会の情報発信

①ホームページ・フェイスブックによる情報発信

・ホームページ・フェイスブックにより、会の事業内容や取り組み経過、今後の予定などを広く広報する。

②愛知登文会ニュースの発行

・会の活動報告等を取りまとめた会報誌を年2回作成・発行する。

県外視察—県外の登録有形文化財や先進的取組み等を視察する県外視察を企画・実施する。